

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう			
取組分野	1	生涯学習			
施策主管部局	教育部				
担当課	市民情報サービスセンター	生涯学習推進課			

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
生涯学習に関する取り組みの市民満足度割合	78.6%	82%	76.7%	77%	78%	79%	80%
図書の貸出冊数	60万冊	58万冊	54万冊	56万冊	58万冊	59万冊	60万冊

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) 生涯学習講座の充実

昨年度実施結果	課題
生涯学習講座を年に3期に分け、春夏60講座(公開講座3講座含む)、秋冬58講座、新春50講座の合計168講座を開催し、市内外から延べ1,747人が受講した。	勤労者などが参加しやすい曜日や時間帯での開催を増やしていく必要がある。 より多くの市民が気軽に参加できるように、サンライズ以外の会場での講座を充実させる必要がある。

(2) 自主的な生涯学習の取り組みへの支援

昨年度実施結果	課題
文化協会委託事業のみよし文化祭と生涯学習発表会を統合して開催したことにより、多様な文化・芸術の交流の機会及び生涯学習活動に取り組んでいる個人・団体へ発表の場を提供することができた。	生涯学習活動に取り組んでいる個人・団体の高齢化が進んでいるため、若年層に対する情報提供や積極的な勧誘が必要である。

(3) 図書の整備

昨年度実施結果	課題
一般書5,862冊、児童・絵本・YA・紙芝居・学校支援5,284冊、郷土・縮刷版1,770冊、雑誌3,096冊、AV資料260点を購入し、蔵書冊数は330,496冊となった。	新刊だけでなく、劣化が早い児童書や頻繁に情報が更新される生活関連の本などを利用者のニーズに合わせ、計画的に入れ替えを行う必要がある。

(4) 読書活動の推進

昨年度実施結果	課題
読書啓発事業として、子ども向けから大人向けまで、さまざまな講演会やおはなし会等のイベントを年間9回開催し、延べ448人が参加した。	講演会等への参加者は多いものの、図書館を頻繁に利用している人の参加が大多数であるため、図書館を利用していない人や読書習慣のない人に対して、参加を促すことが課題である。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	生涯学習講座の受講機会を増やすため、サンライズの他、おかよし交流センターや令和7年度に開館のみなよし交流センターでも講座を開催する。また、学びたいことを学ぶことができるよう、学習経験に合わせた講座を企画し、市民の生涯学習活動をサポートする。

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう			
取組分野	2	文化・芸術			
施策主管部局	教育部				
担当課	生涯学習推進課		歴史民俗資料館		

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
文化・芸術に関する取り組みの市民満足度割合	69.5%	81.2%	79.7%	80%	80%	80%	80%

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) 文化拠点施設の機能維持

昨年度実施結果	課題
勤労文化会館の維持管理を指定管理者制度を活用して民間企業に委託しており、貸館の利用促進や自主文化事業の開催によって文化拠点施設として文化振興を推進することができた。	勤労文化会館が開館してから30年が経過しており、大規模改修は実施したものの、施設全体の老朽化に伴う修繕費用の増加が課題となっている。

(2) 文化・芸術団体への支援

昨年度実施結果	課題
春の文化展、みよし市文化祭、みよし音楽祭、みよし公募美術展を開催し、文化・芸術団体を支援した。みよし音楽祭では、従前の市民合唱交流会よりも多くの団体に参加してもらうことができた。	市民合唱交流会に楽器演奏の分野を加えてみよし音楽祭を開催したが、楽器に関する知識や楽器演奏を含む音楽イベントのノウハウが不十分であったことが課題である。

(3) 史跡、歴史的資料と伝統芸能の保存継承

昨年度実施結果	課題
①資料館などの施設及び有形文化財(三好上・下山車など)と史跡(黒笹27・90号窯など)の適正な維持管理を行った。②発表会の開催や補助金の交付などを通して、保存団体の活動を支援した。	①郷土芸能に対する市民の関心をより高め、発表会の観覧者数を増やすための開催方法を検討する必要がある。②酒井家と福谷城跡は、史跡整備を見据えた専門家による調査・研究協力が必要。

(4) 歴史民俗資料館収蔵資料の整理、調査・研究などへの活用

昨年度実施結果	課題
①会計年度任用職員による埋蔵文化財(5箱)や寄贈資料(148点)の整理作業。②古文書保存マイクロフィルム撮影業務委託(撮影本数5本)。③市内埋蔵文化財発掘調査報告書の作成(1冊)。	未整理資料は展示などに活用できず、他館からの借用依頼にも対応できないため、事業の継続が必要。

(5) 企画展・体験講座の実施

昨年度実施結果	課題
①開館日234日、入館者数4,803人。②春・夏・冬に企画展を3回実施。③その他、出張授業8回、体験講座2回、文化財巡りバスツアー1回、スタンプ(シール)ラリー2回、民具の貸出1回実施した。	①地域の歴史を伝える拠点施設として、多様なニーズに対応した展示などの企画を検討していく。②来館者の利便性を考慮し、展示と体験が同じ場所で行えるような施設の更新を検討する。

(6) 埋蔵文化財の保護と発掘調査の管理

昨年度実施結果	課題
①埋蔵文化財の有無の確認申請件数377件。試掘調査20件、本発掘調査3件。②埋蔵文化財包蔵地の記載内容の変更1件。③「市内遺跡発掘調査事業」国庫補助金として3,032,000円交付される。	埋蔵文化財包蔵地の新規記載などの件数増加に伴い、有無の確認や発掘調査の件数も増加傾向にある。事業者との円滑な協議を進める上で、継続的な国庫補助金の獲得が必要である。

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	勤労文化会館を文化拠点施設としてより長く使用することができるよう施設機能の保全と修繕を計画的に実施する。 歴史民俗資料館では、文化財の保存を継続しつつ、市民の歴史的価値観の多様化に対応した、新しい展示施設と文化財の整備・活用を検討していく。

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう			
取組分野	3	広域交流			
施策主管部局	市民経済部				
担当課	産業振興課		議事課	学校教育課	スポーツ課

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
友好都市交流事業参加者数	106人	106人	99人	120人	140人	160人	180人

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) 土別市との交流の推進

昨年度実施結果	課題
市内小学生、サッカーや野球、バスケットボールのスポーツ少年団の派遣や議員の訪問を行いました。また、土別市小学生の受入れ、土別市からスポーツ少年団(野球)の受け入れを行いました。	両市の負担軽減や児童数の減少により、これまで実施してきた形式での交流を継続することが困難な状況になってきている。隔年開催など交流事業の方法を検討する必要がある。

(2) 木曽町との交流の推進

昨年度実施結果	課題
木曽町宿泊助成の実施。木曽町スキー場リフト券助成、日帰りスキーツアーの実施。友好の森ふれあいツアーは台風により中止。	みよし市民が木曽町を訪れるための取組を実施しているが、その後の交流の拡大が課題。

(3) 産業分野における交流の推進

昨年度実施結果	課題
本市産業フェスタへの木曽町、土別市ブースの出店。土別市産業フェアへのみよし市ブース出店。	現状お互いのイベントに参加しているにとどまっており、その後の産業分野における交流の拡大が課題。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	・今後も引き続き交流を実施し、友好都市との絆を深める。 ・両市の費用負担や児童数の減少により、これまで実施してきた形式での交流を継続することが困難な状況になってきており、隔年開催等、持続可能な実施方法を検討する。

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度	
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち			
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう			
取組分野	4	多文化共生			
施策主管部局	総務部				
担当課	市長公室		協働推進課		学校教育課

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
多文化共生に関する取り組みの市民満足度割合	63.4%	84.1%	81.4%	80%	80%	80%	68%

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) 多文化共生の推進

昨年度実施結果	課題
日本語教室を週2回開催。ボランティア向け勉強会を実施し、日本語教室の充実に努めた。また外国人のための暮らし役立ちリーフレットを作成し、外国人へ暮らしに役立つ情報を周知した。	日本語教室において、日本語が全く話せない初期の外国人受講生が減少しているため、周知方法を検討する。

(2) 国際交流活動の充実

昨年度実施結果	課題
8月に市内中学生をコロパス市に派遣した。10月に教育親善大使を受け入れた。	中学生派遣にあっては、引率教諭3名で生徒16名を管理しており負担が大きい。親善大使受入れにあっては、ホームステイ先の確保が困難である。

(3) 外国人児童生徒への適応支援

昨年度実施結果	課題
日本語が十分でない外国人児童生徒のための初期指導教室や就学前及び小学1・2年生のこどもへの日本語教室を実施した。	日本語を全く話すことができない外国人児童生徒の転入が増えている。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	日本語ボランティアの活動支援を継続して行い、より一層の日本語教室の充実を図る。また、外国人のための暮らし役立ちリーフレットの配布・周知を進め、外国人も一市民としてまちづくりに参加できるよう努める。

行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度
基本目標	1	安心して子どもを産み、誰もが豊かな心を育むまち		
取組方針	3	文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう		
取組分野	5	男女共同参画		
施策主管部局	総務部			
担当課	協働推進課			

1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
男女共同参画に関する取り組みの 市民満足度割合	66%	85%	74.2%	70%	70%	70%	70%

2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

(1) 男女共同参画の推進

昨年度実施結果	課題
従業員のワーク・ライフ・バランスの実現に向け、市内企業向けイクボス講演会を開催。また、性の多様性に関する理解促進を図るため、市民向け・高校生向けのLGBT基礎講座や職員研修を開催した。	講演会や研修会の開催回数は限られているため、今後は施策や講座、イベント内容の充実及び周知方法を検討し、幅広い市民への施策の浸透を図る。

(2) DV(ドメスティック・バイオレンス)の防止

昨年度実施結果	課題
DV(ドメスティック・バイオレンス)の根絶に向けたPRとして、ポスターの掲示や啓発カードを市役所他15箇所に設置しました。また、女性の悩みごとに関する相談を延べ127件実施しました。	DVは、身体的暴力に限らないなど、当事者が問題として認識するための広い周知が必要である。また、DV被害は包括的な対応が必要であるため、専門的支援や関係機関との連携強化を図る。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S:躍進中、A:予定通り、B:遅れ気味)	今後の方向性
A	男女共同参画推進に向けた人材育成のため、各種セミナーを継続し、改定した男女共同参画プランに基づき、男女共同参画推進に努めていく。 DVの防止及び被害の抑制に向け、啓発を継続し、包括的な対応ができるよう、関係機関等との連携強化を図る。